

質疑・一般質問

6月11日、12日の本会議では、質疑5名、一般質問12名の議員が発言し、議案や市政全般にわたり活発な質問を行いました。(発言順に掲載)
その他の質問については、議会中継や、会議録検索システム(9月中旬に掲載予定)でご覧いただけます。

- 質疑…市長から提案された議案等の議題となっている案件に対し、不明確な点を問い、案件の提出者等に説明や意見を求めること。(1人当たりの制限時間は40分)
- 一般質問…市長を初めとする執行機関に対し、市の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針、計画あるいは疑問点などについて問うこと。(1人当たりの制限時間は60分)

人口増対策としての玉丘史跡公園の活性化について

一般質問



中右 憲利 議員
(21政会)

問 加西市では今、播磨国風土記1300年事業に取り組んでいるが、これを一過性のものとせず、歴史に関心のある人が大勢集まって、こんな所に住みたいと思う、そういう永続的な文化、雰囲気を加西市に創ってもらいたい。そういう文化の発信源、中心として玉丘史跡公園をぜひ活用すべきと思う。2年後には播磨国風土記関連の大きなイベントを考えているとのことだが、平成28年度には1億円の

寄附金を活用した事業を行うということも聞いている。古代ロマンを感じる新しい加西市の文化を創造するために、ぜひ今からその事業に関する検討も始めてもらいたい。

答 23年度の決算が当初の見込みより5億円ぐらい改善しておりまして、27年度末での基金残高は8億7,000万円ぐらいの予想です。さらに3月補正の段階で4億7,000万円ほどの改善が見込めるという状況の中で、1億円の寄附金の使い道は28年より少し早く決めたいと思っております。玉丘史跡公園への寄附金については、それがしっかり形に現れるという事で、

箱物はいと思っています。しかし箱物にはランニングコストがかかりますし、職員の配置という事も必要かもしれません。そこはいろんな要素についてしっかりと相談しながら、内部で計画を作って進めたいと思います。方向としては今後少し前倒しで計画を作っていくたいと思っています。

■その他の質問項目

- ・市内基幹道路の整備について
- ・ふるさと創造会議について
- ・加西サイサイまつりについて